

【那珂川市】 校務 DX 計画

「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」に基づく自己点検結果（文部科学省：令和 6 年 3 月通知）の自治体別達成状況では、学校設置者向けの点数が 245 点（福岡県平均 202.1 点）、学校向けの点数が 404.5 点（福岡県平均 366.6 点）と福岡県平均を大きく上回っている結果となっています。

概ね校務 DX 化は進んでいるものの、設問別にみると教育委員会・学校・保護者間での事務手続きや配布物等のペーパーレス化が進んでおらず、出欠連絡等についてもデジタル化されていないことが課題として挙げられます。

これらを踏まえて、自己点検結果から本市の教育 DX を推進するうえで、下記の項目について重点的に取り組みます。

・統合型校務支援システムの導入

令和 7 年度に向けて、ふくおか電子自治体共同運営協議会（県及び県内 53 自治体で構成）と参加自治体が協力して、統合型校務支援システムの共同調達を行います。本システムは、教員の働き方改革、教育の質の維持向上を目的として、教務系（成績処理、出欠管理、時数管理等）、保健系（健康診断、保健室来室管理等）、学籍系（指導要録等）、学校事務系などを統合した機能を有するとともに、情報の一元管理や共有、効率的な事務処理を行うことができるパブリッククラウド型の統合型校務支援システムとして、本市では令和 7 年度から導入します。

この統合型校務支援システムは、共同利用することで参加自治体間の児童・生徒及び教職員情報をシステム上で移動することが可能となります。また、参加自治体に関しても、当初の筑紫地区 5 市（那珂川市、春日市、大野城市、太宰府市、筑紫野市）以外の自治体からも参加を希望されています。令和 7 年度以降も他自治体へ参加を呼びかけることで、福岡県全体の校務 DX 及びペーパーレス化を促進していきます。

・保護者連絡システムの導入

学校から保護者への連絡事項について、紙での配布を廃止しメール配信することで、ペーパーレス化を実施します。

保護者からの出欠連絡について、デジタル化することで好きな時間に連絡が可能となり利便性が向上します。また、統合型校務支援システムとデータ連携することで出席簿に自動で反映するため、教職員の負担軽減を図ります。

・デジタル採点システムの導入

小中学校のデジタルドリルの活用が進む一方で、学校では紙のテストの採点業務が教

職員の負担になっています。

そのため、教職員の負担軽減を図るため令和 7 年度から中学校においてデジタル採点システムを導入し、採点業務時間の削減を図っていきます。小学校においては、中学校の使用状況等を勘案しながらデジタル採点システムの導入を検討します。

- ・ グループウェア機能の導入

教職員間の校内連絡や、市教育委員会からの通達等、F A X や紙媒体を使用している状況が未だあるため、令和 7 年度よりグループウェア機能を導入します。

グループウェア機能には、主に連絡掲示板機能・個人連絡機能・文書連絡機能を有しており、それぞれの機能をもって、市教育委員会や校内の情報共有をデータ上で行うことを推進することで従来の F A X でのやり取りや、押印された紙媒体での通知を原則廃止していきます。